

学校教育目標	「さわやかに かがやいて 目標を持って 共に歩もう」 (知)個に応じた指導を工夫し、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てます。 (徳)善悪の正しい判断力を身につけ、自他を尊重する心や態度を育てます。 (体)心と体の健康に進んで取り組む姿勢を育てます。 (公)地域に愛着を持ち、地域の一員として役に立つ喜びを感じる子を育てます。 (開)様々なコミュニケーションを通して、視野を広げ、考え深い子を育てます。				
	創立 52 周年 児童生徒数: 677 人	学校長 荒井 正史	副校長 山口 茂代	2 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 7
学校概要	主な関係校: 保土ヶ谷中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自己も他者も尊重し、互いに関わっていく 自らすすんで挑戦していく態度	保土ヶ谷中学校 常盤台小学校 上星川小学校 星川小学校 坂本小学校	人、もの、こととのかかわりを通して、自らの考えを深め、豊かなコミュニケーションをもつ子ども ・小中交流会において、資質・能力の育成について必要な力を共通理解する。 ・各教科領域において、その資質・能力の育成を意識した授業を展開する。

中期取組目標	○地域や保護者との連携を深め、協働して児童の育成に取り組む、開かれた学校づくりを推進します。 ○個に応じた指導を充実し、個々の児童の特性を發揮し活躍できる場を与え、生きる力の育成をめざします。 ○全教職員が課題を共有し、解決に向けて協働して取り組める学校体制を構築します。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 研究部	①一部教科担任制を実施し、児童の学習内容への理解を深める。 ②対話的・協働的な学習を積極的に行い多様な考え方を身に付けられるようにする。 ③ICTを効果的に活用する授業づくりを研究し、児童の情報活用能力を育む。
徳 豊かな心 担当 道徳部、総務部	①ペア学年交流などの異学年交流を増やし、互いのことを認め、思いやる心情を育む。 ②子どもの社会的スキル横浜プログラムを推進し、豊かなコミュニケーションスキルを育む。 ③考え、議論する道徳の実践を重ね、道徳的判断力、思考力を養い、実践していく態度を育む。
体 健やかな体 担当 体育部、食育部	①キラキラタイムなどを効果的に活用し、様々な運動を主体的に体験する機会を増やし、自ら運動に親しもうとする心情を育む。 ②養護教諭や栄養職員、関係諸機関等と連携し、自らの健康に関心をもち、健康的な食生活を実践していこうとする態度を育む。
公開 地域連携 担当 指導部	①学校運営協議会を基盤に、地域、保護者、学生、関係諸機関等、児童が多くの人に見守られていると実感できる地域協働教育の充実を図る。 ②地域学校協働本部やふれあい実行委員会を中心に、「ふれあい教室」や「見守り隊」、学習ボランティア等の充実を図る。
いじめへの対応 担当 指導部	①児童が安心して学校生活を送ることができるよう、職員間での連携、共有を行う。 ②子ども会議等とおして、児童自らがいじめのない学校について考え、実践できるようにする。 ③「いじめアンケート」や「YPアセスメント」を活用し、一人ひとりの思いに気づく。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部	①全職員が「児童のために」という共通の目標をもち、組織のなかで個を活かすとともに互いを高め合うことができる職員集団をめざす。 ②教職員が常に心身ともに健康で笑顔で児童と向き合うことができるよう、時間外在校時間月45時間超の教職員をゼロにする。
特別支援教育 担当 指導部	①特別支援教育は全職員で行うものであるという共通理解をもち、コーディネーターを中心に組織的に支援する体制を整える。 ②多様な教育的ニーズに対応した支援を行うことができるよう、効果的な関係諸機関との連携について実践とおして、理解を深める。
安全管理 担当 指導部	①児童が安全に過ごすことができるように、日頃からの安全点検を徹底する。 ②避難訓練や交通安全教室の実践のなかで、地域や関係諸機関との連携を図る。 ③見守り隊との連携等とおして、児童が自身の安全を守ろうとする心情や態度を育む。
児童理解 担当 指導部	①児童の様子に目を向け、一人ひとりに声をかけたり話を聴いたりすることによって、一人ひとりの思いや考えに気づく。 ②児童の様子を教職員で共有し、その子にとって適した支援をチームで考え、実践する。 ③「坂小スタンダード」について職員間で共通理解を図り、統一した指導を行う。
チーム学年経営 担当 教務部	①児童が多くの教職員に見守られていると実感することができるように、すべての学年で一部教科担任制を敷き、複数で共有・支援を行う。 ②ブロックリーダー、学年主任を中心に関係諸機関や地域などの材を活かしながら、組織的協働的に児童を育む体制を築く。